

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	良く なっている	コンビニ（店 長）	単価の動き	・プラス一品の購入があり、節約モードは抜けたと感じる。以前は安いものが売れていたが、良いものなら少し高くても売れるようになっている。
	やや良く なっている	百貨店（販売促 進担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要による、高額な美術品や指輪・ネックレス等の宝飾品の動きが良い。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・客単価が高めに推移している。
		スーパー（企画 担当）	単価の動き	・来客数は伸びてはいないが、値上げによる商品単価上昇で客単価が上昇している。ただし、年末の予約商品（クリスマスケーキ・おせち）の状況は価格の高い商品が伸び悩んでいる。
		スーパー（企画 担当）	競争相手の様子	・食料品の売上は堅調に推移している。同業他社も、前年を上回っている様子である。
		コンビニ（店 長）	来客数の動き	・4か月ぶりに前年同月を上回った。来客数、売上ともに堅調な状況で推移した。
		衣料品専門店 （経営者）	販売量の動き	・今月は中旬までは11月に続いて厳しかったが、20日過ぎからはボーナスが出た影響により、急に動きが変わり、1か月を通してみると良かった。
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・ボーナス支給やクリスマス商戦に加え、消費税増税前という事で、来客数も大幅に増え、購入量も増えている。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・11月に引き続き、新型車効果及び消費税増税前の駆け込み需要で、前年、前々年を上回ったが、受注状況を見ると、今月中旬頃から動きが悪くなってきている。
		その他小売 [ショッピング センター]（支 配人）	来客数の動き	・気温の低下により、衣料品関係の売上が上昇している。
		観光型旅館（経 営者）	販売量の動き	・例年より忘年会の利用が増えた。単価についてもそれなりに上昇し、富裕層はお金を使っているという感じがする。宿泊客が増えているわけではないが、少し良くなっている。
		旅行代理店（支 店長）	お客様の様子	・年末年始の日並びの良さで、長距離の海外旅行を申し込む客が多い。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・年末商戦を迎え、需要が増加傾向となっている。
		通信会社（企 画）	お客様の様子	・先月に続き、消費者の高額商品への引き合いは衰えていないが、景気が良いとまでは言えない。
競艇場（職員）	販売量の動き	・ボートレース界最高峰のレースが開催され、売上は前月比20%増、3か月前比12%増となった。		
変わらない	商店街（代表 者）	お客様の様子	・週末の集客力が少し低下しているように思われる。また、若年層の購入単価が下落している。	
	商店街（代表 者）	競争相手の様子	・商店街の競争相手である郊外大型店のシェア争いが本格化すると思われる。既に家電量販店にその傾向が見えるが、数年後に残るのはどこかという状況になってきた。	
	商店街（事務局 長）	お客様の様子	・瀬戸内国際芸術祭が終わると、人出が減ると覚悟をしていたが、平日、週末ともに人通りは多い。一方、年配者の購入単価は上がっているが、全体で売上の上昇は見られない。	
	一般小売店 [文 具店]（経営 者）	お客様の様子	・客との会話の内容から、変わらない。	
	一般小売店 [生 花]（経営者）	お客様の様子	・忘年会やクリスマス、年末の繁忙期なのに、繁華街の人出が少ない。単価の安い商品に売れ行きが集中し、衝動買いをする人は少ない。	
	一般小売店 [菓 子]（総務担 当）	お客様の様子	・購買意欲はあるものの、日用品に近い定番品を購入する動きは控えめである。価格訴求以外のものを求める傾向が強い。	
	百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・少し高い商品を買う客もいるが、まだ少ない状況である。	
	スーパー（財務 担当）	単価の動き	・健康に良い物や、おいしい物がよく売れている。値上げによる客単価の上昇もあり、前年比プラスが続いている。	
	乗用車販売店 （従業員）	お客様の様子	・円安により建築資材等が値上りをしているため、計画していた設備投資の見直しを考えると出ている。	

	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・消費税増税に伴う駆け込み需要が販売量に現れている。3月まで続くと思うが、4月以降の落ち込みの方が心配である。		
	乗用車販売店 (役員)	販売量の動き	・12月は、消費税増税の影響と景気の底堅さで受注が増加すると見込んでいたが、今のところ伸びていない。1月に新型車等の投入があるので、期待をしている。		
	その他小売 [ショッピング センター] (副 支配人)	お客様の様子	・景気が良くなってきていると言われるが、消費者の買物の姿勢は慎重である。		
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・一部業種では景気が持ち直しているという報道もあるが、ホテル業は、景気の回復はみられない。		
	ゴルフ場 (従業員)	来客数の動き	・昨年を、やや上回って推移しているが、後半の伸びが無く、まだ良くなっているとの判断はできない。		
	美容室 (経営者)	来客数の動き	・12月なのに普通の月と変わらない。		
	設計事務所 (所長)	それ以外	・建設業では、仕事は増えているのに儲からないという状況が続いている。		
やや悪くなっている	商店街 (代表者)	単価の動き	・冬物商戦が非常に悪い。重衣料を含むファッション関係の高額商品の売れ行きが悪い。クリスマスも人出はあったが、財布のひもが固く、売上減の状態が続いている。		
	一般小売店 [書籍] (営業担当)	販売量の動き	・外商は前年を上回ったものの、店頭販売が足を引っ張り、全体の売上は前年より少し下がった。		
	衣料品専門店 (総務担当)	販売量の動き	・昨年よりも新規客の動きが非常に悪く、売上も厳しい。コートなど重衣料の売上も前年を下回っている。		
	タクシー運転手	来客数の動き	・忘年会シーズンで週末は人出があるが、それ以外は寂しい。もう少し良くなると思っていたが、期待はずれだった。乗客からも、上向きという話はなかなか聞こえず、変わらないという話が多い。		
	タクシー運転手	お客様の様子	・例年12月は一番忙しい月であるが、平日は全然駄目で、売上は低迷している。		
	美容室 (経営者)	お客様の様子	・来客数等をみても、年末らしい忙しさが無く、普段とあまり変わりがない。		
悪くなっている	一般小売店 [酒] (販売担当)	お客様の様子	・忘年会シーズンで例年なら料飲店への酒類の出荷も伸びるが、今年は忘年会の件数が減少傾向だったようである。人口減少が著しい地方は厳しい。		
企業動向関連 (四国)	良くなっている	食料品製造業 (商品統括)	取引先の様子	・食品業界でも、人手が足りないところが増えつつある。	
		輸送業 (支店長)	受注量や販売量の動き	・大阪支店で運搬車両不足が発生したため、本社から大型車両1台を応援に派遣している。	
	やや良くなっている	食料品製造業 (経営者)	取引先の様子	・設備投資、新工場設立等が増えている。	
		繊維工業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・小売店からの受注は相変わらずおう盛である。	
		パルプ・紙・紙加工品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・新商品を中心に、売上が伸びている。	
		鉄鋼業 (総務部長)	受注量や販売量の動き	・自動車関連の受注が引き続き好調で、船舶関連受注もやや盛り返している。	
		一般機械器具製造業 (経理担当)	受注量や販売量の動き	・中国地方や北陸地方で上昇傾向にあるなど全国的に高稼働を維持し、受注状況も順調である。海外は地域によってバラツキや不透明感があるものの、全体としては堅調に推移している。	
		輸送業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・確実に受注量は増加している。	
		金融業 (融資担当)	取引先の様子	・建設業の取引先は受注増を見込み、従業員確保を図っている。	
		広告代理店 (経営者)	受注量や販売量の動き	・12月は繁忙期であるが、消費税増税の影響もあり、例年より販促広告が増加している。	
		公認会計士	取引先の様子	・昨年よりも忘年会の客単価が上昇しているようだ。街中の飲食店、ホテル等の飲食店においても客単価が伸びているという話を聞く。景気は持ち直しつつあると感じる。	
		変わらない	農林水産業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・供給量が前年を下回り、卸売単価は平年並みであるが、前年の高値の影響から発注量は少なくなっている。

	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年は忙しい時期であるが、今年は普通である。新設の電気設備工事が少なく、メンテナンスをする程度にとどまっている。
	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・今四半期と直前の四半期を比較すると、販売量は変わらない。
	建設会社（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は若干増えている。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共事業が増えて受注量も増加したが、自社の処理能力の限界近くに達していることから、手持ち業務を完工させないと新規受注が難しく、大きくは変わらない。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・見積依頼は増えているが、職人の不足や請負金額が合わないため、なかなか受注に結びつかない。
	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・景気回復報道や年末繁忙期ということで、物流の大幅増を期待したが、予想に反して、前年を少し下回った。地方においては景気回復が実感できない状態である。
	通信業（部長）	受注量や販売量の動き	・12月は前月比では売上増加傾向にあるが、前年同月と比較すると、大きな変化は見られず、しばらくはこの状況が続くと思われる。
	やや悪くなっている	—	—
	悪くなっている	—	—
雇用関連 (四国)	良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子 ・消費税増税前でカーディーラーの広告出稿はおう盛。人気車種は3月納車が難しいという声もある。住宅関係は広告はしないが建築は好調とのこと。これまでは高額商品が対象だったが、今後は低額商品や日用品にまで広がっていくと考える。
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業）	求人数の動き ・正規、非正規問わず事務系の求人が増えている。派遣法改正後に落ち込んだが、最近では増加傾向にある。ただ、求人ニーズに対して、求職者が不足気味で、バランスが悪い。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き ・公共事業が増えているため、土木系の求人が少し増えている。
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子 ・新卒採用を再開もしくは新たに始めた企業が、前年比1.2倍程度ある。
		職業安定所（職員）	それ以外 ・11月の月間有効求人倍率は1.07倍で、3か月前より、0.14ポイント上昇している。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き ・内定辞退者が出るほど就職内定率は前年同期を上回っている。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子 ・新聞等で報道されているような景況感は、顕著に認められない。建設業等で現業作業員の求人ニーズがあるが、求職者の希望職種とのマッチングが難しい。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・建設業、サービス業、小売業など、消費税増税前の駆け込み需要が期待できる業種で、販売拡大・営業強化の求人増が目立っている。しかし、企業の価格転嫁や採算改善の兆しまでは至っていない。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き ・求人倍率は過去最高を更新し続けているが、採用条件の好転はなく、採用者数も増加していない。
		民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子 ・景気浮揚の起爆剤的なものは、あまり無い。むしろ消費税増税が及ぼす影響を懸念する声が多い。設備投資を次年度は控えるという企業もある。
	やや悪くなっている	○	○
	悪くなっている	—	—